

令和6年度 デイサービスセンターほっこりーな 事例発表

新規ご利用者様への関わり方について。

釜田（介護福祉士）
高柳（介護福祉士）

O・S様

プロフィール

年齢92様 女性 要介護2

既往歴・現病歴

心肥大 弁膜症

大腸癌手術 変形性膝関節症の疑い

ADL 麻痺：なし 起居：自立

歩行：杖 移乗：見守り

排泄：自立 着替：自立

入浴：一部介助

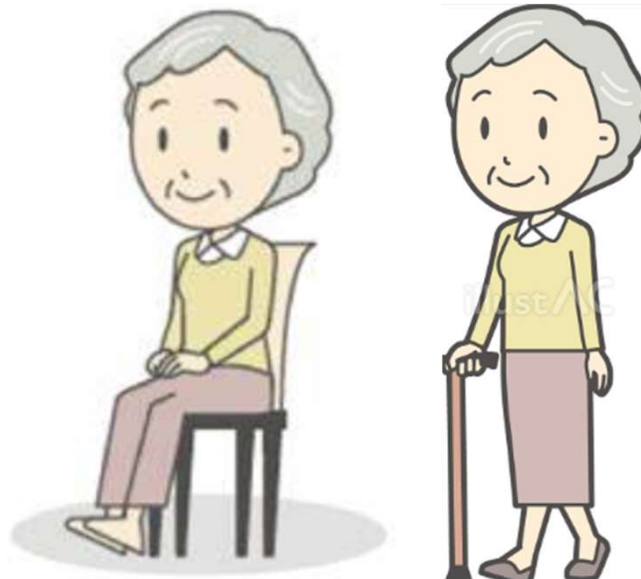


【お試し～ご利用までの流れ】

- ・ほとんど、自宅から出ることはなく、初めてのデイサービスを利用することとなった。
- ・自宅敷地が広いため、日中は庭いじりや草刈りなどをして過ごしていた。
- ・耳が遠いため、家族との会話にも不自由があり、孤立していた。
- ・初回利用から少しの間は補聴器に電池が入っておらず、他者とのコミュニケーションが取れないため、職員が橋渡し役をするも意思疎通が困難な状況だった。
- ・変形性股関節・ひざ関節症の疑いあり、歩行困難で行動範囲が少なかった。
- ・靴はサイズが合っておらず、足底が摩耗して経年劣化していた。
- ・靴下を履かずストッキングが好みであった。

【課題】

- ・園滞在中、楽しく過ごしていただくために補聴器の調整。
- ・他者とのコミュニケーションを橋渡しする。
- ・趣味の編み物に取り組んでいただく。
- ・歩行の安定化。
- ・椅子への姿勢保持。
- ・入浴を楽しんでいただく。



* 補聴器の電池はお預かりをして定期的に交換作業をしています。

【取組内容・前期】

- ・ デイサービスの利用に慣れてきた頃、徐々に増回を進めていきました。
- ・ ご家族様が補聴器の電池交換ができないため（ご本人様との関係性が悪いため）、こちらでお預かりして交換をしました。
- ・ 個別機能訓練にて歩行訓練、関節可動域訓練を行う。
- ・ ひざ関節、腰部の痛み軽減アプローチを行う。
- ・ 靴を選定して購入伺いを立てる。
- ・ ストッキングから靴下を履いていただくようお願いをする。
- ・ 入浴拒否があり、入浴しない日もある。無理強いをせず、本人の意思を尊重しながら声掛けをする。

【機能訓練士より】

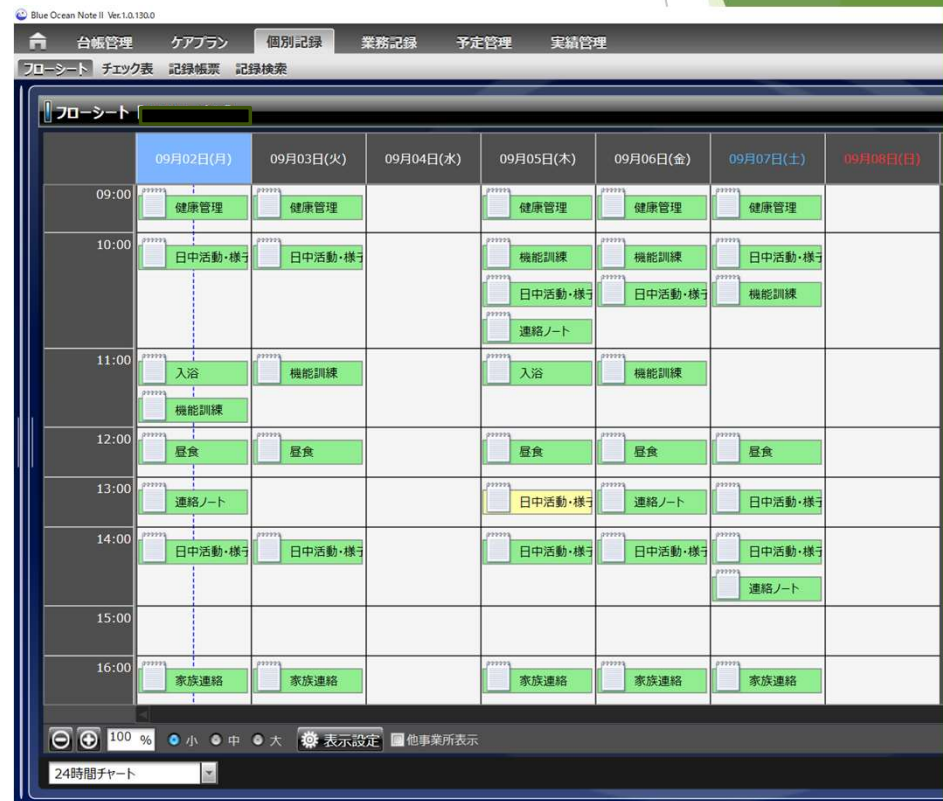
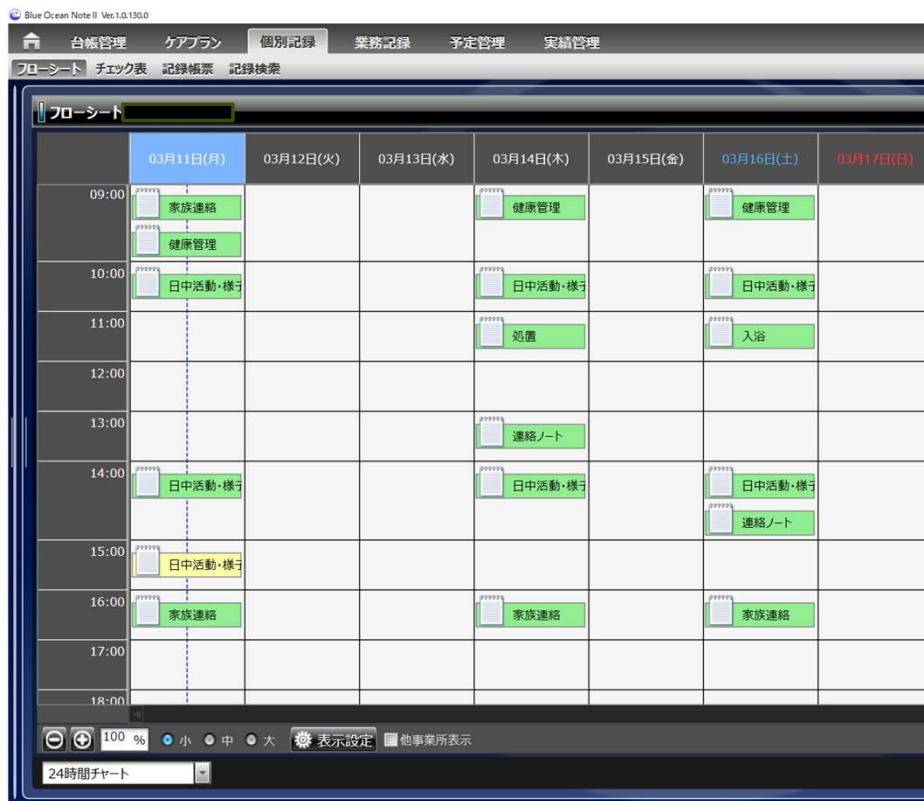
- O脚、関節の変形、ひざが伸び切らない課題。ご本人様より腰や左ひざの痛みと違和感があり、個別機能訓練を行う。
- 靴の摩耗と経年劣化、つま先部分が狭く、踵を踏んでしまいサイズが合わない。
- ストッキングと靴の相性が悪く、足底が滑りやすい。
- 腰痛の訴え。（ひざをかばっている。靴がぶかぶかで腰への負担がかかっている）
- 幅の狭い靴、ストッキングの締め付けによる浮腫（むくみ）



【取組内容・後期】

- ・ 週5回まで、ご利用回数の増回。
- ・ 補聴器の調整が円滑に進み、ご本人様も聞こえることにより、他者とのコミュニケーションを取っている機会が見受けられました。
- ・ 歩行訓練（すり足の改善、左右バランス向上）を行う。
- ・ 個別機能訓練による、ひざ関節、腰痛のアプローチ。（マッサージ器ラクシアの使用）
- ・ 新しい靴のフィッティングを行い、新規購入しました。
- ・ 靴下を履いて、デイサービスをご利用の提案。（ストッキング未着用）

週3回から週5回へ、ご利用日数の増回。
入浴、個別機能訓練も併せて支援内容が増えました。



記録システムによる週間予定による比較。支援の幅が広くなり、デイサービス利用が日常化されました

補聴器の聞こえが良くなり、職員、他ご利用者様との会話、コミュニケーションが円滑になった。



個別活動は編み物、塗り絵なども行い、午後のおとなの学校にも積極的に参加されています。

平行棒内歩行訓練による歩容の改善



〇脚による変形が強く、歩き方や速度が緩慢でした。



足先が真っすぐになり歩行が安定しました。

個別機能訓練による、ひざ関節、腰部の痛み軽減アプローチ。
マッサージ器ラクシア（むくみ改善）



機能訓練指導員による、左ひざの可動域訓練で徐々に膝が伸びるようになりました。
リハビリ後は、マッサージ器ラクシア、温熱療法ホットリズムミーを使用しています。

新しい靴を試している様子。
フィッティングを行い、色を選んでいる。



靴の種類や色を職員とコミュニケーションを取りながら、ご自身で選定されています。

ストッキングから靴下へ変更し、足底が滑らないようになる。



歩き易くなるためと説明をしたところ、快く変更してくださっています。職員との関係性が良好だと感じました。

【まとめ】

- ・週5回に増回したことにより、他者との交流機会が増えて、明るい表情をされるようになりました。
- ・昔の趣味にふれることができ、いきいきとされています。
- ・自分も誰かの役に立っていることを実感していると話されています。誰かが困っていると声掛け、手助けする場面もみられています。
- ・補聴器は自宅での管理が困難でしたが、家族から電池を預かり定期的に交換することで、耳の聴声がよくなり活動範囲が広くなりました。
- ・歩行訓練を継続して行うことにより、安定した歩行、安全に移動・移乗されています。

【まとめ】

- ・ 個別機能訓練による、ひざ関節、腰痛減少を図り、マッサージ器ラクシアにより、むくみの改善ができました。
- ・ 靴、ストッキングを変えたことにより、歩行が安定しました。（すり足改善、ひざ、腰にかかる負担軽減できた）
- ・ 利用前は、精神面での不安が強くてた際、不穩になることがあったとご家族様よりお話しあり。偽薬（ラムネ）を持参し症状がでたら食べるとのことでしたが、そのような対応は1度もとりませんでした。

現在は規則正しい生活になり、デイに通うことによりご家族が自分の時間を持つ事が出来、趣味を楽しむ余裕ができてきたようです。今後もデイ利用を続け生活に張りを持って元気でいてほしいとおっしゃっていました。

ご清聴ありがとうございました。

